



誰もが主役！ほっとステーション

～さんふらわあ宿泊体験学習～



令和 7 年 11 月 16 日（日）～11 月 17 日（月）大洗港に停泊中のフェリー「さんふらわあ ふらの」船内を会場に「誰もが主役！ほっとステーション」が令和 7 年 11 月 16 日（日）～11 月 17 日（月）の一泊二日で開催されました。（対象：小学 5 年生～中学 3 年生）

＼ほっとステーションとは？／

様々な理由で学校に足が向かなかったり、友人関係に不安を感じたりと悩みを抱える子どもたちに、学校外の体験活動や異年齢の交流活動を通して、楽しいと思える場、ほっとできる場を提供します。

【2 日間のわくわくプログラム】

- キャプテンによる船内体験
- ひとりぼっちでも前向きな考え方ができ、いざとなったら助けを求められる教育
- 登校に悩む保護者のための講義
- 咲くトーク～親たちの小さな語り場～
- セラピードック
- プロジェクターによるお絵かき水族館
- ドローンシュミレーター
- 化学実験
- カードでプログラミング
- 始めようか天体観測
- 放っとケー機
- ボードゲーム
- パターゴルフ
- 多様性って
- VR 体験
- しおりづくり
- スライム作り
- 海のプランクトンを観察しよう
- フェリーかくれんぼ with 逃走中
- 言葉を超えてつながろう！
- 日曜から夜更かし
- ラジオ体操
- 目覚ましラッキー
- 勾玉づくり
- ハギレ DE エコリース制作
- 巨大オセロ
- 海の大科学実験教室デラックス
- みんなでおしゃべりタイム（保護者向け）
- 謎解きアドベンチャー

支援者による多様なプログラム



それぞれのプログラムは
自由に選択 OK
興味のあるものを自分で
決めて、オリジナルの二
日間を過ごす！

【協賛】茨城トヨベット、NPO ひと・まちなえっとわーく

【協力】商船三井さんふらわあ、水戸市教育委員会、茨城町教育委員会、笠間市教育委員会、小美玉市教育委員会、城里町教育委員会、ひたちなか市教育委員会、大洗町教育委員会、東海村教育委員会、常陸大宮市教育委員会、那珂市教育委員会、大子町教育委員会、みと青年会、大洗町高校生会、筑波大学太刀川研究室、NPO 法人日本セラピードック協会（敬称略・順不同）

【ほっとステーション実行委員会】

会長 小沼公道（笠間市教育委員会教育長）

副会長 長谷川馨（大洗町教育委員会教育長）

鈴木昭博（茨城県水戸生涯学習センター次長兼企画振興課長）

羽石康弘（水戸教育事務所主任社会教育主事）、大口武文（茨城県水戸生涯学習センター社会教育主事）、

石井浩司（水戸市社会教育主事）、山田敏晴（笠間市社会教育主事）、三澤秀生（小美玉市社会教育主事）、

渡邊秀幸（ひたちなか市社会教育主事）、川野邊慧（大洗町教育委員会主任）、部実（大洗町社会教育主事）、

坂田洋平（東海村社会教育主事）、阿部智仁（那珂市社会教育主事）、

伊藤千智（茨城県水戸生涯学習センター社会教育主事）、高村勇志（ひたちなか市立佐野中学校教諭）、

郡司崇人（ダイバーシティ推進センター主査）、植竹智央（茨城県青少年育成協会理事）

社会教育関係者の活躍!!

※水戸教育事務所の事業

2014～2017 年度 茨城大学戦略的地域連携プロジェクト支援により不登校児童生徒支援事業として大学の専門性、青少年教育施設がもつ機能、地域のボランティア力等の連携により、適応指導教室在籍の児童生徒等に様々な体験活動を、またその保護者にカウンセリング等の機会を提供し、子どもと親の心の安定を図ることで不登校改善の一助となる事業（通称：ほっとステーション活動）を展開した。なかなか解決の糸口が見いだせないでいる不登校や引きこもり等現代的課題に対し、これまでは本格的に取り組まれていることのなかった新たなアプローチであり、有効な打開策となることが期待できる事業として 4 年間の支援を得た。教育支援センター等連絡協議会（旧適応指導教室等連絡協議会）は現在も継続されている。